

今日は、東日本は高気圧に引き続き覆われますが、寒冷前線が日本海に進む見込みです。  
このため、関東甲信地方は日中を中心に晴れますが、夕方から曇りとなり、長野県や関東地方北部では雨が降る所がある見込みです。

明日は、寒冷前線が朝には北陸地方から近畿地方に達し、夜には関東地方南部まで南下する見込みです。  
このため、関東甲信地方では、概ね曇りですが、甲信地方や関東地方北部では昼前後に雨が降り、関東地方南部では夕方からにわか雨となるでしょう。

【 土日のお天気 】

	29日(Sat)		30日(Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌		22/ 19	//	24/ 16
秋田	/	26/ 22	//	26/ 15
仙台		28/ 22	//	23/ 18
宇都宮		30/ 23	/	26/ 21
東京		32/ 26		27/ 23
横浜		32/ 25		26/ 23
長野	/	24/ 22		27/ 19
静岡		31/ 23		30/ 24
名古屋	/	29/ 24		30/ 24
新潟	/	27/ 24		27/ 20
金沢	/	28/ 23		28/ 20
大阪		30/ 24	//	31/ 23
神戸		28/ 25	//	30/ 24
広島	//	32/ 22	//	31/ 22
松江	//	28/ 23	//	27/ 22
高松	/	29/ 25		30/ 22
高知	/	33/ 26		30/ 22
福岡		31/ 25	//	30/ 24
鹿児島	//	32/ 26	//	32/ 25
那覇		33/ 28		33/ 28

( :晴れ, :くもり, :雨, \*:雪 :のち, // :時々, /:一時)

【 お天気モード 】

「 緊急地震速報発表、EQアラートは作動せず 」 平成21年8月25日の日記より

先ほど、NHKの総選挙の政党政見放送中のテレビ画面で、「千葉県沖で地震が発生強い揺れがある・・・」という内容の緊急地震速報が流れました。

練馬区に設置しているEQアラートは全く反応せず（正常の反応です）、変だなと感じていました。

またしても、緊急地震速報の誤報です。

**EQアラート**の正確性が、逆証明された結果となりました。

## 地震情報（震源・震度に関する情報）

平成21年8月25日6時43分 気象庁発表

きょう25日06時37分ころ地震がありました。

震源地は、千葉県東方沖（北緯35.4度、東経141.2度）で、震源の深さは約20km、地震の規模（マグニチュード）は4.1と推定されます。

この地震による津波の心配はありません。

この地震について、緊急地震速報を発表しています。この地震で震度1以上は観測されていません。

情報第1号=

=====  
wis@wis-x.co.jp  
気象情報システム(株)  
=====

気象庁は午後、緊急地震速報が誤報であったことの報告を、次のように発表いたしました。

「**千葉三芳**」の**地震観測点**は震度計の機能も有しています。昨日は、この震度計機能についてのソフトウェア改修を業者により実施しました。この際、改修対象とはなっていない緊急地震速報処理についても業者により作業が行われ、その作業の結果**ソフトウェアに不具合**が生じ、振幅を過大に送るようになっていたものです。

注1) NHKのテレビ報道によれば、業者は**明星電気（東京都文京区の気象測器メーカー）**

今後このようなことがないよう、業者への指導を徹底し、改修前後のソフトウェア等の比較結果についても業者から報告させるとともに、気象庁としてもその内容を確認することにより、再発防止に努めていきます。

なお、現在「千葉三芳」観測点については、正しいソフトウェアに復旧させ、運用を再開しております。

注2) NHKのテレビ報道によれば、**千葉の他にも3箇所**において、業者による同様のミスがあった。

【感想】

ミスが「地震計の改修ソフトのミス」であるだけに、「メーカーの自信は回収できない」ほど、一気に崩れ去ったことだと思われます。メーカーのミスとのことですが、気象庁の担当者はソフトの改修を点検していなかったのでしょうか？気象庁の担当者にはミスはなかったのだろうか？何だか、不可解な発表だと思えます。

## 【 防災をソリューションする気象会社 】

### 「家庭用地震警報器 (EQアラート)」

<http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/eqalert/>

### 「地震番」

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

### 「防災ソーラー製品」

<http://www.tenkidegenki.net/solar/>

## 【 e健康生活 】

### 「登山中の突然死 その1」 2009年08月27日の日記より

昨今の山は、中高年であふれている。それとともに、遭難事故が多いのも中高年登山者。なかでも心筋梗塞など心血管系疾患は死と直結し、登山中の突然死となりやすい。

今年、7月に発生した北海道大雪山系での大量遭難は記憶に新しい。ガイドを含め、遭難したのは全て高齢者だった。登山といえば、遭難がつきもので、その原因となる天候の急変は山ではよくあること。むしろ、当たり前と言ったほうが適切だろう。

その危険と背中合わせの山で、自然を満喫しさわやかな登山を行っている、40歳以上の中高年登山者の遭難が急増中。

2008年の全遭難者は1933人。うち中高年は1567人(81%)。死者行方不明者は91%を占めている。いずれも過去最高。

## 【 遭難の実態 】

1. ワースト順にあげると、道迷い、滑落、転倒、転落。
2. 山岳雑誌や登山同行者、目撃者の証言によれば、遭難者の滑落、転落には心血管系疾患の発症が先行していたと思われる例が少ない(日本旅行医学会専務理事の篠塚医師)。
3. 海外の3千~4千メートル級の登山やトレッキングの中高年の遭難事故も同様
4. 海外旅行保険に加入しているケースでは死亡状況の報告があり、明らかに心血管系疾患を思わせる事故で、死亡している中高年登山者が増えている。

Q. 登山中に心血管系疾患を発症したらどうなる？

A. 倒れるとか、ふらついて滑落や転落したときには救命は不可能なことが多い。山中では速やかな搬送も困難、現実的には、軽症ならたまたま助かるけれども、重症例はほぼ全て死亡する。

## 【 結 論 】

スポーツ中の突然死の大半は心血管系疾患、なかでも心筋梗塞です。

( 赤旗新聞8月30日 より編集 )

続 く。

## 【 感 想 】

次回に、スポーツ中の心筋梗塞を引き起こす原因等について掲載予定です。

先日のテレビ報道によれば、登山のベテランの方が、心臓発作と思われる症状を起こし、アルプスの山で仲間の目の前で倒れてそのままお亡くなりになったという旨のニュースを拝見したばかり。

ベテランと言えど、毎年一個づつ年を重ね、いつもの通り大丈夫だったはずの山行への過去の経験と自信が、体調不良をカバーしきれずという結果につながりました。

私は、体調不良を引き起こす要因に、飲み水にも原因があるのではと想っています。また、高山になるほど、ただでさえ平地より気圧が低いわけなので、少しでも体調不十分のケースには、心臓への負担は見逃せない。

この2点が、今後、中高年登山者の遭難におけるポイントになってくると見えています。

## 【 WISからのお知らせ 】

\*\*\*\*\* 天気で元気！ \*\*\*\*\*

世界で最初の「ソリューションする気象会社」

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

**トータル節水システム** ( **経費節減効果NO1** )

[http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru\\_shouhin.htm#echoj](http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj)

たのしい競馬に **「馬場コンディション情報」**

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ **「ミスター防災」**

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 「直売所NOW」

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 「ウェザー & ビューティ」

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>

\*\*\*\*\*